

# 続ければ、深まる。深まれば、広がる。

ラオス学校建設活動25年間を振り返り、活動を継続できた要因は大きく3つあると考えます。

1つ目は、模擬株式会社の設立です。この会社はラオス商品の仕入販売による利益を学校建設資金とする目的としており、全校生徒は募金ではなく出資という形でこの活動に毎年参加できるようになりました。

この会社形式が、商業高校としての本校に大きくマッチングし、商業高校ならではの国際協力活動となりました。

社員となった生徒たちは、商業を学ぶ生徒たちです。その生徒たちが、ラオス学校建設資金をどうやったら増やせるか、ビジネス実践体験を通じて、新しいことに挑戦できる教育機会となつたのです。

2つ目は、地元高知に目を向けたことです。商店街の衰退をはじめ、多くの課題を抱える地元高知とラオスの両方の発展を願う方向性を持ったことにより、本校の国際協力活動は地域をも巻き込んだダイナミックな活動へと変化・発展してきました。生徒たちは商店街との共同イベント、高知とラオスを結ぶ商品開発等を新しい発想で取り組み、活動の輪を広げていきました。

3つ目は、本物の教材との出会いによる生徒たちの大きな成長です。教室を飛び出し、実際にラオスを訪問し、商品の仕入れや建設された小学校のこどもたちと交流し、地域商店街での販売そして地元企業やラオスとの商品開発を経験した生徒たちは、飛躍的にプレゼンテーション力やコミュニケーション力、課題解決力等様々な力を向上させ、それが活動の継続と広がりの原動力となりました。

そして、その舞台は、ラオスとのビジネス交流、高知の課題にもとづいた地元企業・団体との連携事業に発展しようとしています。また、この生徒たちによる自らの課題を発見・解決し、時には失敗から多いに学び目標を達成していく力は学校全体に定着してきていくと感じています。

これからも商業教育の特性を生かし、世界に通用する人材、アジア諸国で活躍する人材を社会に送り出せる活動にしていきます。

## 建設に協力した8つの学校

1995年7月落成 バン・バンキー小学校



建坪:575m<sup>2</sup>  
校舎:3棟(トイレなし)  
教室数:9室  
生徒数:240名  
着工:1995年6月14日  
引渡:1995年7月24日

1995年7月落成 バン・ポングン小学校



建坪:300m<sup>2</sup>  
校舎:1棟(トイレなし)  
教室数:5室  
生徒数:120名  
着工:1995年6月14日  
引渡:1995年7月24日

1996年12月落成 バン・カーム小学校



建坪:433m<sup>2</sup>  
校舎:2棟(内トイレ付)  
教室数:6室  
生徒数:180名  
着工:1996年8月9日  
引渡:1996年12月17日